

試運転開始の南伊豆町で風車と健康被害に関する勉強会

12 月 19 日に行われた風車と健康被害に関する勉強会には多数の町民が参加しました。南伊豆町では石廊崎・走雲峡に建設された 2,000 キロワット級風車 17 基が今年 3 月から本格稼働する予定です。昨年 11 月末に試運転が始まって以来、風車近隣の住民からは不眠や体調不良の声が上がっており、自宅を離れて避難している方たちもいます。

講師を務めた覚張進さんは、ご自宅のある東伊豆町に 10 基の風車が建設され近隣住民が体調不良を訴え始めたことがきっかけで風車による健康被害について調べ続けてきました。勉強会では、人体への影響が推測される超低周波音（ちょうていしゅうはおん）の人家への伝わり方は風車からの距離、地形、風向き、季節や時間帯などによって変化することをていねいに説明し、30 人ほどの参加者からの活発な質問に答えていました。

風力発電所の建設には立地規制がなく、周辺環境に及ぼす調査も法的に義務づけられていません。風車の巨大化や人家への接近に伴い、騒音や超低周波音などによる被害を訴える住民が各地で増えているため、環境省は 4 月から初の全国調査に乗り出します。

